

## 「光の道」構想に関する意見

意見提出元	個人
意見項目	意見内容
<p>1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユニバーサルサービス制度の見直し検討(アナログ電話と同等の価格品質+定額 IP の条件でエリア別に方式・事業者を選定)。</li> <li>・ 有線方式での維持コストが3倍超のエリア5%は、無線や公的補助、基金割当を柔軟に組合せて整備。光化は利用率 up 後で可。</li> <li>・ 管路に余裕がある限り、光化に伴うメタル剥がしは不要。NTTのメタル網は KDDI・電力等の他社や公共系への移管・譲渡へ。</li> </ul>
<p>2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適当と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。</p>	<p><b>【2大連合による競合形成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 光主軸の NTT・SB? とメタル主軸の KDDI・電力・CATV による、2つの垂直/水平連合の形成を促進。競合と棲み分けへ。</li> <li>・ NTT メタル網を不採算エリアから上記 KDDI 陣営へ順次移管。メタルの除却費・工数を圧縮、一部の保守サービス収入確保。</li> <li>・ 負の遺産を含んだメタル網を引継ぐ KDDI 陣営には、スマートグリッド推進時の網再編で公的支援を検討。</li> </ul> <p><b>【接続率 100%化へ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ IP 無関心層への料金競争は効果薄で業界ジリ貧化。地デジ的なアナログ電話専用サービス巻取りと、選択肢設計の見直しを。</li> <li>・ NTT アナログ電話サービス終了告知・光化手続 or 他社 ADSL 乗換をキャンペーン化。電話番号や加入権特典は光に引継ぎ。</li> <li>・ 定額 IP 接続(1Mbps 制限) + 従量 IP 電話 = アナログ基本料金並(+利用月のみプロバイダ料加算)でネットありきのサービス化。</li> </ul> <p><b>【ライトユーザ新市場からの上位シフト】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 光とメタルで主軸を分けた二大陣営により、IP 通信 1~50Mbps のライトユーザ市場を形成。競合と併用、上位市場シフトを促進。</li> <li>・ 光は 1M から 100M や 1G 上への高速化シフトを促進。アナログ優先電話に代わる災害時向け光サービス提供とその公的認証。</li> <li>・ メタルは電話、ADSL、公共検針、災害用、電力売買など多様な高付加価値化から直流スマートグリッド初期の足回り・宅内へ。</li> </ul> <p><b>【公正な競争環境の形成促進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ NTT 法は電電公社時代の公務員保護が主目的。基本は民間企業扱いで、政府も組織形態や役員人事への関与は不要。</li> <li>・ NTT が引き継いだ旧電電資産(主にメタル網)の分配で不公正感の要因を解消。公正な取引環境の形成は課題、重点監視化。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>▪ 地域やインフラ部門の統合、純民間企業としてサービス部門の分社化容認。NTT の自主的なグループ再編を促す。</li></ul>
--	---